

自己点検・自己評価報告書

平成 25 年 3 月 5 日現在

東京誠心調理師専門学校

平成 25 年 3 月 5 日作成

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検項目	評価※	現状認識・評価等
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確に定めている。理念・目的は学則に明記し、育成人材像は、学校案内やホームページで示している。
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	学科別カリキュラムとシラバスに反映している。多様なコース設定や独自性のあるカリキュラムを編成会議で検討し方針を立てている。
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	見直しを実施している。調理師科2年制学科のカリキュラムの見直し再編した。ISO22000 認証取得した
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	3	周知徹底している。学外にも広く公表している。朝礼、職員会議等で適時周知を促している。学校案内やホームページで紹介している。

※評価に関しては下記の通り(以下全て同様)

5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

1-2 学校の特色はなにか

点検項目	評価	現状認識・評価等
1-2-5 学校の比類ない特色として挙げられるものがあるか	4	国際的な衛生管理基準に準拠した施設設備とそれを活かした高い教育レベル。ISO22000 の認証を取得し食品安全マネジメントシステムが実現している。

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検項目	評価	現状認識・評価等
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	4	短期・中期経営計画を立てている。2010年より2020年までの基本計画を策定している。

基準 2 学校運営

2-4 運営方針は定められているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	経営理念として、具体的にその方針が明確に定められ示されている。
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	朝礼、職員会議等で適時周知徹底している。
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	3	概ね諸規定は整備されている。寄附行為、組織図、就業規則、経理規定、給与規程、出張規程、退職金規定、非常勤講師規定、教務規程などを運用している。

2-5 事業計画は定められているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	3	毎年度の事業計画を策定し学園理事会で検討決定している。
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	3	運営されており、毎年度の事業計画の運営状況を学園理事会で報告している。

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-6-6 運営組織図はあるか	4	毎年度、学園、学校組織図が発表されている。
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	3	組織図において職務役割が明確示されており、概ね効率的なものになっている。
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4	各部単位の業務分担表により職務内容、責任者、担当者等が明確になっており発表されている。

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	年間の教育研修等の実施回数が不足しており、育成に関する教育計画が不十分である。
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	3	夏冬賞与時、年度末実施される。
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	3	年度末の人事考課を参考に実施される。
2-7-12 賃金制度は整備されているか	3	給与に関する規程は整備され、規程に沿って行われている。

2-7-13 採用制度は整備されているか	5	製菓衛生師法・調理師法の教員資格要件が定められており、採用時の基準となっている。
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	法令にある教員数に準拠して毎年度、学園、学校組織図が発表されている。

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	4	教職員会議等で諮問し、部課長会議、理事会で意思決定するシステムが確立している。
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	4	月次の教職員会議の実施と諮問事項の検討を部課長会議で検討決定している。
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か	4	理事長、学校長、教務・総務・経理部課長で階層・権限が存在し明確になっている。

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	3	広報・教務・経理・原材料発注システムを運用しており、概ね情報システム化がなされている。

基準 3 教育活動

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	業界のニーズに新調理システムの対応があり、業界向けの研修会を実施し、その成果をカリキュラム導入している。

3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を達成する知識、技術、人間性等は、業界が求めるレベルに適合しているか、また、レベルに到達することが可能な修業年限となっているか	3	調理師法に基づく知識・技能と教育期間は確保され、調理師免許取得に連動したレベルに到達している。

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	調理師法にある規定科目と教育目標に基づくカリキュラムを体系的に編成している。
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	4	業界の現場を訪問し意見の回収をしている。また海外の教育プログラムも参考に構築している。
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	年 1 回、教務責任者、教科担当者によるカリキュラム編成体制をとっている。
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	4	年 1 回、教務責任者、教科担当者によるカリキュラムの見直し検討を実施。

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	調理師法に基づく位置づけを中心に、業界ニーズに対応した教科目を適正に配している。
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	4	学習目標、学習ポイント、授業方法、成績評価方法、使用テキスト、授業内容を明確にしたシラバスが作成されている
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	授業内容は 1 単位時間当たりを標準に計画され、授業シラバスが作成されている。

3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-14-10 キャリア教育が行われているか	3	就職対策講座や教養講座など、カリキュラムの教科として実施されている。
3-14-11 キャリア教育の実効性は検証されているか	3	就職実績で総合内定率が 80%以上を維持している。

3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-15-12 学生による授業評価を実施しているか	2	アンケート形式で実施している。
3-15-13 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	2	校長、一部の教務関係者で把握・評価している。

3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-16-14 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	3	カリキュラムにある主要科目は専任教員が担当できるよう確保できている。
3-16-15 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	3	専門性を問われる調理技術担当教員は業界レベルに対応している。毎年全国の調理技術コンクールで学生選手の指導にあたり大臣賞をはじめ好成績な結果の実績がある。
3-16-16 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	3	専門性を問われる調理技術担当教員には、業界主催の各種コンクールに出場させるなど、適宜把握し、評価している。
3-16-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	3	専門性を問われる調理技術担当教員は特に、専門分野別に業界の現場研修を実施している。
3-16-18 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	3	アンケート形式で実施し教授力を把握、評価している。
3-16-19 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	3	インストラクションマニュアルで研修している。
3-16-20 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	3	教員・非常勤講師の合同講師会を開催して、教育方針、授業評価、現状把握と改善の取り組みがあり、概ね適切に協業している。
3-16-21 非常勤講師間で適切に協業しているか	3	教員・非常勤講師の合同講師会を開催して、教育方針、授業評価、現状把握と改善の取り組みがあり、概ね適切に協業している。
3-16-22 非常勤講師の採用基準は明確か	3	調理師法の教員資格要件が定められており、採用時の基準となっている。

3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-17-23 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学則および教務規程に成績評価・単位認定の基準が明確に示されている。
3-17-24 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	4	学則および教務規程に他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準が示されている。

3-18 資格取得の指導体制はあるか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-18-25 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	5	国の認める調理師養成施設で国家試験が免除されると明確に定められている。
3-18-26 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	5	国の認める調理師養成施設で国家試験が免除されると明確に定められている。

基準 4 教育成果

4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
4-19-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	就職目標の数値化と達成率を確認し、概ね目標を達成している。
4-19-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	就職目標の数値化と達成率の推移を確認し把握している。

4-20 資格取得率の向上が図られているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
4-20-3 資格取得率の向上が図られているか	4	卒業者は全て資格を国家試験免除で取得している。また、検定資格の取得をすすめている。
4-20-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	卒業者数として明確に把握している。

4-21 退学率の低減が図られているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
4-21-5 退学率の低減が図られているか	4	クラス担任が常に学生の動向を把握して保護者との連絡を密にし、適時個別面談を実施し低減を図っている。
4-21-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	入学者に対する退学率の目標の数値化と推移を確認し明確に把握している。

4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
4-22-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	4	卒業生が就職先で活躍している状況や在校生のアルバイト等の状況を把握している。
4-22-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	独立開業している卒業生の状況を把握しているため、記述できる。
4-22-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	4	全国の調理技術コンクールで毎年、好成績を残している。
4-22-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	4	全国の調理技術コンクールで24回大臣賞を獲得している。

基準 5 学生支援

5-23 就職に関する体制は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-23-1 就職相談室の設置など就職支援に関する体制は整備されているか	3	学生の就職・進学指導に関する役割が明確にされており、そのスケジュール、情報資料も整備されている。
5-23-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	就職企業を招いての5月、9月の年間2回の学内説明会を実施している。
5-23-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	担任による学生個別面談と就職担当者による個別面談を実施している。
5-23-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	4	カリキュラムの中に科目として導入し、指導を実施している。

5-24 学生相談に関する体制は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-24-5 学生相談室の設置など学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任を中心に教務責任者が相談に応じて対応している。2室を開設し、休憩時間、放課後対応している。
5-24-6 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	2	現在、専用カウンセラーはなく、対応していない。
5-24-7 留学生に対する学生相談体制は整備されているか	3	留学生相談担当者が相談に対応し、概ね有効に機能している。

5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-25-8 奨学金制度が整備されているか	4	奨学金制度がある。
5-25-9 学費の分納制度はあるか	4	分納制度がある。

5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-26-10 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	4	定期健康診断の実施、日常の健康上の相談する医務室の設置など、支援体制はある。
5-26-11 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	3	専門の担当医師がいる。

5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-27-12 スポーツ等のクラブ活動、その他、課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	ボランティア活動として毎月 1 回地域清掃活動などを実施している。

5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-28-13 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3	提携の学生寮がある。またアルバイト奨学生で提携企業の寮を提供している。

5-29 保護者と適切に連携しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-29-14 保護者と適切に連携しているか	4	年間 2 回の保護者会を実施、また個別相談も実施している。

5-30 卒業生への支援体制はあるか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-30-15 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	3	同窓会組織があり、機関紙作成、同窓会の開催をしている。
5-30-16 卒業生をフォローアップする体制が整備されているか	3	各種講習会の案内で、卒業生の優遇をしている。

基準 6 教育環境

6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
6-31-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	教育上必要な施設・備品およびパブリックスペース十分に備えている。
6-31-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備されているか	5	定期清掃、設備点検、セキュリティ管理を実施している。
6-31-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	4	ISO22000 導入による監査体制を確立し、定期の点検を実施している。

6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
6-32-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	5	インターンシップは年間 2 週間、海外研修はヨーロッパ、中国、国内では京都の研修を実施している。
6-32-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	インターンシップにおいて企業からの評価により把握している。

6-33 防災に対する体制は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
6-33-6 防災に対する体制は整備されているか	4	定期防災訓練実施、緊急時避難場所、情報連絡、組織体制などを整備している。
6-33-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	4	調理実習室における調理機器の取扱い指導を実施している。
6-33-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	4	調理実習室における調理機器の取扱い指導を実施している。
6-33-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	4	傷害保険の加入をしている。
6-33-10 防災訓練を実施しているか	3	毎年秋に防災訓練を実施している。

基準 7 学生の募集と受け入れ

7-34 学生募集活動は、適正に行われているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
7-34-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	誇大な広告を避け、事実を正確に伝え学生募集をしている。
7-34-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	教育目標、設置学科コース、カリキュラムとシラバス概要、学校生活紹介など分かり易いものとなっている。
7-34-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	4	体験入学、学校見学、メール・電話問合せなど担当者が適切に対応している
7-34-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	4	学校全体として定員を充分満たした。

7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
7-35-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	概ね正確に伝えられている。入学者のアンケート結果から、就職実績、活躍する卒業生の情報は教育成果として重要な入学要因であった。
7-35-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	4	入学者のアンケート結果から就職実績、活躍する卒業生の情報は重要な要因であった。

7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
7-36-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	募集要項に明記されている公平な基準に基づき行われている。
7-36-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	学科別の募集状況、入学者の属性等の分析を実施している。

7-37 学納金は妥当なものとなっているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
7-37-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	3	募集要項・教材費明細により経費を明らかにして妥当性を示している。
7-37-10 入学辞退者に対する授業料等の返還について適正に処理されているか	4	募集要項・教材費明細により経費を明らかにして妥当性を示し、適正に処理されている。
7-37-11 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	3	他校の学費調査し分析している。

基準 8 財務

8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
8-38-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	安定している。財務基盤の安定を示す各経営データがある。
8-38-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	4	キャッシュフローの状況を示すデータがあり、正確に把握している。

8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
8-39-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	5	予算・収支計画が理事会を経て決定されており、妥当なものとなっている。
8-39-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	5	予算執行状況が月次で報告され、会計監査も実施されている。

8-40 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
8-40-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	公認会計士による監査を実施しており、適正である。
8-40-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	責任体制を明確にし、毎月会計監査を実施しており、妥当である。

8-41 財務情報公開の体制整備はできているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
8-41-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	3	財務情報の公開については、学校法人本部で公開資料を準備し体制を整備している。
8-41-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	3	財務情報の公開については、学校法人本部で公開資料を準備し体制を整備している。

基準 9 法令等の遵守

9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
9-42-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	専修学校・調理師養成施設の設置基準を満たしており、適正な運営がなされている。
9-42-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	設置基準等に対する研修を実施している。

9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
9-43-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護に関するポリシーを示している。また、情報管理セキュリティシステムを導入するなど、対策がとられている。
9-43-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	情報管理セキュリティシステムについて研修会を実施している

9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
9-44-5 自己点検・自己評価を定期的の実施し、問題点の改善に努めているか	3	私立専門学校等評価研究機構のフォーマットを基準に年度末に定例で実施している。
9-44-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	3	私立専門学校等評価研究機構のフォーマットを基準に確立されている。
9-44-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3	自己点検自己評価報告書を閲覧共有しており、正確に伝わっている。

9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
9-45-8 自己点検・自己評価結果を公開しているか	3	学園ホームページで公開している。
9-45-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	3	自己点検評価報告書にある点検大項目・中項目を公開する事としている。
9-45-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3	自己点検評価報告書にある点検大項目・中項目を学園ホームページで公開し告知している。

基準 10 社会貢献

10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
10-46-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	多数の食企業、団体が学校施設を利用しセミナーや講習会を実施するなどして、連携・交流を図っている。
10-46-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や雇用促進への支援を行っているか	4	各種生涯教育講座や公開講座を定期的の開講し、支援している。
10-46-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	4	地元企業や地域町内会等と連携をとり、学校施設・設備を利用しての活動を実施するなどして地域社会と連携している。
10-46-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	4	提携校の協力のもと、海外研修を実施している。
10-46-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	3	学生の朝礼・ホームルーム、教職員の研修会等を実施して行っている。
10-46-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	4	ISO22000 導入によりハード・ソフトの両面を充実させ、食品安全教育に重点的に取り入れている。

10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
10-47-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	定期的に近隣清掃や、高齢者を招いての食事会等を実施している。
10-47-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	2	主に学生面談等の際に聞き取りにて把握している。

自己点検・自己評価報告書

平成 25 年 3 月 5 日現在

国際フード製菓専門学校

平成 25 年 3 月 5 日作成

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検項目	評価※	現状認識・評価等
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確に定めている。理念・目的は学則に明記し、育成人材像は、学校案内やホームページで示している。
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	学科別カリキュラムとシラバスに反映している。多様なコース設定や独自性のあるカリキュラムを編成会議で検討し方針を立てている。
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	見直しを実施している。リッチモント誠心プログラムを活用しカリキュラム等の再編した。
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	3	周知徹底している。学外にも広く公表している。朝礼、職員会議等で適時周知を促している。学校案内やホームページで紹介している。

※評価に関しては下記の通り(以下全て同様)

5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

1-2 学校の特色はなにか

点検項目	評価	現状認識・評価等
1-2-5 学校の比類ない特色として挙げられるものがあるか	4	国際的な教育機関との教育連携と衛生管理基準に準拠した施設設備とそれを活かした高い教育レベル。国際プログラム「リッチモント誠心プログラム」を実現している。

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検項目	評価	現状認識・評価等
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	4	短期・中期経営計画を立てている。2010年より2020年までの基本計画を策定している。

基準 2 学校運営

2-4 運営方針は定められているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	経営理念として、具体的にその方針が明確に示されている。
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	朝礼、職員会議等で適時周知徹底している。
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	3	寄附行為、組織図、就業規則、経理規定、給与規程、出張規程、退職金規定、非常勤講師規定、教務規程などを運用し、概ね諸規定は整備されている。

2-5 事業計画は定められているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	3	毎年度の事業計画を策定し学園理事会で検討決定している。
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	3	毎年度の事業計画の運営状況を学園理事会で報告している。

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-6-6 運営組織図はあるか	4	毎年度、学園、学校組織図が発表されている。
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	3	組織図において職務役割が明確示されており、概ね効率的なものになっている。
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4	各部署の業務分掌表により職務内容、責任者、担当者等が発表されている。

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	年間の教育研修等の実施をより推進することで教育計画をさらに整備する。
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	3	夏冬賞与時、年度末実施されている。
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	3	年度末の人事考課を参考に実施されている。

2-7-12 賃金制度は整備されているか	3	給与に関する規程は整備され、規程に沿って行われている。
2-7-13 採用制度は整備されているか	5	製菓衛生師法・調理師法の教員資格要件が定められており、採用時の基準となっている。
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	法令にある教員数に準拠して毎年度、学園、学校組織図が発表されている。

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	4	教職員会議等で諮問し、部課長会議、理事会で意思決定している。
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	4	月次の教職員会議の実施と諮問事項の検討を部課長会議で検討決定する制度をとっている。
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か	4	理事長、学校長、教務・総務・経理部課長で階層・権限が明確に存在している。

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	3	広報・教務・経理・原材料発注システムを運用しており、概ね情報システム化がなされている。

基準 3 教育活動

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	企業等の関係者と連携して、校外研修の実施と評価や現役シェフによる実技実習授業の学生評価からニーズ把握し、正しく方向付けられている。

3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を達成する知識、技術、人間性等は、業界が求めるレベルに適合しているか、また、レベルに到達することが可能な修業年限となっているか	3	調理・製菓衛生師法に基づく知識・技能と教育期間は確保され、調理・製菓衛生師免許取得に連動したレベルに到達している。

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	製菓衛生師法にある規定科目と教育目標に基づくカリキュラムを体系的に編成している。
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	4	業界の現場を訪問し意見の回収をしている。また海外の教育プログラムも参考に構築している。
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	年 1 回、学校長、教務責任者、教科担当者によるカリキュラム編成検討を実施。
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	4	年 1 回、学校長・教務責任者、教科担当者によるカリキュラム見直し検討を実施。

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	製菓衛生師法に基づく位置づけを中心に、業界ニーズに対応した教科目を配している。
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	4	学習目標、学習ポイント、授業方法、成績評価方法、使用テキスト、授業内容を明確にしたシラバスを作成している。
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	授業内容は 1 単位時間当たりを標準に計画されシラバスが作成されている。

3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-14-10 キャリア教育が行われているか	3	就職対策講座、教養講座をカリキュラムに加えている。
3-14-11 キャリア教育の実効性は検証されているか	3	就職実績で総合内定率が 90%以上を維持している

3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-15-12 学生による授業評価を実施しているか	2	評価はアンケート形式で実施している。
3-15-13 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	2	校長、一部の教務関係者で把握・評価している。

3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-16-14 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	3	カリキュラムにある主要科目は、要件を備えた専任教員を確保している。
3-16-15 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	3	毎年全国の技術コンクールで学生選手の指導にあたり大臣賞をはじめ好成績な結果の実績があり、専門性を問われる技術担当教員は業界レベルに対応している。
3-16-16 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	3	専門性を特に問われる技術担当教員には、業界主催の各種コンクールに出場させ、適宜把握し評価している。
3-16-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	3	専門性を問われる技術担当教員は特に、専門分野別に業界の現場研修を行っている。
3-16-18 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	3	評価はアンケート形式で実施し把握評価している。
3-16-19 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	3	インストラクションマニュアルで研修し、向上させるための取り組みはしている。
3-16-20 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	3	教員・非常勤講師の合同講師会を開催して、教育方針、授業評価、現状把握と改善の取り組みがあり、概ね適切に協業している。

3-16-21 非常勤講師間で適切に協業しているか	3	教員・非常勤講師の合同講師会を開催して、教育方針、授業評価、現状把握と改善の取り組みがあり、概ね適切に協業している。
3-16-22 非常勤講師の採用基準は明確か	3	製菓衛生師法・調理師法の教員資格要件が定められており、採用時の明確な基準となっている。

3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-17-23 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学則および教務規程に成績評価・単位認定の基準が明確に示されている。
3-17-24 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	4	学則および教務規程に成績評価・単位認定の基準が明確に示されている。

3-18 資格取得の指導体制はあるか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
3-18-25 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	5	国の認める調理・製菓衛生師養成施設で国家試験受験免除で資格取得・国家試験受験資格をしている。
3-18-26 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	5	国の認める調理・製菓衛生師養成施設で国家試験受験免除で資格取得・国家試験受験資格をしている。

基準 4 教育成果

4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
4-19-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	就職目標の数値化と達成率を確認し、概ね目標を達成している。
4-19-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	就職目標の数値化と達成率の明確な推移を確認している。

4-20 資格取得率の向上が図られているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
4-20-3 資格取得率の向上が図られているか	4	調理師免許を国家試験免除で取得している。製菓衛生師の受験資格を取得して国家試験を受験している。
4-20-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	卒業者数として明確に把握している。

4-21 退学率の低減が図られているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
4-21-5 退学率の低減が図られているか	4	クラス担任が常に学生の動向を把握して保護者との連絡を密にし、適時個別面談を実施し、低減を図っている。
4-21-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	入学者に対する退学率の目標の数値化と推移を確認している。

4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
4-22-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	4	卒業生が就職先で活躍している状況や在校生のアルバイト等の状況を把握している。
4-22-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	独立開業している卒業生の状況を把握しており、記述することが出来る。
4-22-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	4	全国の技術コンクールで毎年、好成績を残している。
4-22-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	4	全国の技術コンクールで毎回大臣賞を獲得している。

基準 5 学生支援

5-23 就職に関する体制は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-23-1 就職相談室の設置など就職支援に関する体制は整備されているか	3	学生の就職・進学指導に関する役割が明確されており、そのスケジュール、情報資料も整備され、概ね有効に機能している。
5-23-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	就職企業を招いての学内説明会を実施している。
5-23-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	担任制による個別面談と就職担当者による個別面談を実施している。
5-23-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	4	カリキュラムの中に科目として導入している。

5-24 学生相談に関する体制は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-24-5 学生相談室の設置など学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任を中心に教務責任者が相談に応じて対応している。2室を開設し、休憩時間、放課後対応している。
5-24-6 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	2	現在、専用カウンセラーはいない。
5-24-7 留学生に対する学生相談体制は整備されているか	3	留学生相談担当者が相談に対応している。

5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-25-8 奨学金制度が整備されているか	4	奨学金制度がある。
5-25-9 学費の分納制度はあるか	4	分納制度がある。

5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-26-10 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	4	定期健康診断を実施している。日常の健康上の相談する医務室がある。
5-26-11 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	3	専門の担当医師がいる。

5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-27-12 スポーツ等のクラブ活動、その他、課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	ボランティア活動として毎月曜日に地域清掃活動などを実施している。

5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-28-13 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3	提携の学生寮がある。またアルバイト奨学生で提携企業の寮を提供している。

5-29 保護者と適切に連携しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-29-14 保護者と適切に連携しているか	4	年間2回の保護者会を実施している。また個別相談も実施している。

5-30 卒業生への支援体制はあるか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
5-30-15 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	3	同窓会組織があり、機関紙作成、同窓会の開催している。
5-30-16 卒業生をフォローアップする体制が整備されているか	3	各種講習会の案内で、卒業生の優遇をしている。

基準 6 教育環境

6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
6-31-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	教育上必要な施設・備品は十分に備えている。
6-31-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備されているか	5	定期清掃、設備点検、セキュリティ管理を実施している。
6-31-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	4	定期清掃、設備点検、セキュリティ管理を実施している。

6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
6-32-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	5	インターンシップは年間 2 週間、海外研修はヨーロッパ、中国、国内では京都の研修を実施している。
6-32-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	インターンシップにおいて企業からの評価により把握している。

6-33 防災に対する体制は整備されているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
6-33-6 防災に対する体制は整備されているか	4	定期防災訓練実施、緊急時避難場所、情報連絡、組織体制などを整備している。
6-33-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	4	実習室における機器の取扱い指導を実施している。
6-33-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	4	実習室における機器の取扱い指導を実施している。
6-33-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	4	傷害保険の加入をしている。
6-33-10 防災訓練を実施しているか	3	毎年 4 月に防災訓練を実施している。

基準 7 学生の募集と受け入れ

7-34 学生募集活動は、適正に行われているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
7-34-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	誇大な広告を避け、事実を正確に伝え学生募集をしている。
7-34-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	教育目標、設置学科コース、カリキュラムとシラバス概要、学校生活紹介など分かり易いものとなっている。
7-34-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	4	体験入学、学校見学、メール・電話問合せなど担当者が適切に対応している。
7-34-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	4	学校全体として定員を充分満たした。

7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
7-35-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	入学者のアンケート結果から、就職実績、活躍する卒業生の情報は教育成果として重要な入学要因であった
7-35-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	4	入学者のアンケート結果から就職実績、活躍する卒業生の情報は重要な要因であった。

7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
7-36-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	募集要項に明記されており、公平な基準に基づき行われている。
7-36-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	学科別の募集状況、入学者の属性等の分析を実施し、把握している。

7-37 学納金は妥当なものとなっているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
7-37-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	3	募集要項・教材費明細により経費を明らかにして妥当性を示している。
7-37-10 入学辞退者に対する授業料等の返還について適正に処理されているか	4	募集要項・教材費明細により経費を明らかにして妥当性を示し、適正に処理している。
7-37-11 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	3	他校の学費調査し分析している。

基準 8 財務

8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
8-38-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	財務基盤の安定を示す各経営データがある。
8-38-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	4	キャッシュフローの状況を示すデータにより、正確に把握している。

8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
8-39-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	5	予算・収支計画が理事会を経て決定されており、妥当なものとなっている。
8-39-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	5	予算執行状況が月次で報告され、会計監査も実施され、妥当に執行されている。

8-40 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
8-40-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	公認会計士による監査を実施している。
8-40-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	責任体制を明確にし、毎月会計監査を実施している。

8-41 財務情報公開の体制整備はできているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
8-41-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	3	財務情報の公開については、学校法人本部で公開資料を準備し体制を整備している。
8-41-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	3	財務情報の公開については、学校法人本部で公開資料を準備し体制を整備している。

基準 9 法令等の遵守

9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
9-42-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	専修学校、製菓衛生師・調理師養成施設の設置基準を満たし、適正な運営がなされている。
9-42-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	設置基準等に対する研修を実施している。

9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
9-43-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護に関するポリシーを示している。また、情報管理セキュリティシステムを導入している
9-43-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	情報管理セキュリティシステムについて研修会を実施している。

9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
9-44-5 自己点検・自己評価を定期的の実施し、問題点の改善に努めているか	3	私立専門学校等評価研究機構のフォーマットを基準に年度末に定例で実施している。
9-44-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	3	私立専門学校等評価研究機構のフォーマットを基準に確立されている。
9-44-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3	自己点検自己評価報告書の閲覧共有により、正確に伝わっている。

9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
9-45-8 自己点検・自己評価結果を公開しているか	3	学園ホームページで公開している。
9-45-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	3	自己点検評価報告書にある点検大項目・中項目を公開する事としている。
9-45-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3	自己点検評価報告書にある点検大項目・中項目を学園ホームページで公開し告知している。

基準 10 社会貢献

10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
10-46-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	多数の食企業、団体が学校施設を利用しセミナーや講習会を実施している。
10-46-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や雇用促進への支援を行っているか	4	各種生涯教育講座を定期的の開講することで、支援を行っている。
10-46-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	4	地元企業や地域町内会等と連携をとり、学校施設・設備を利用しての活動を実施している。
10-46-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	4	提携校の協力のもと、海外研修を実施している
10-46-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	3	学生の朝礼・ホームルーム、教職員の研修会等の実施により、啓蒙活動を行っている。
10-46-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	4	食品安全教育に重点的に取り入れている。

10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検項目	評価	現状認識・評価内容等
10-47-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	定期的に近隣清掃や、児童養護施設の児童を招待して菓子教室を実施している。
10-47-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	2	主に学生面談等の際に聞き取りにて把握している。

財務情報

平成 25 年 3 月 31 日現在

学校法人 誠心学園

学校法人 誠心学園

貸借対照表

平成25年3月31日

(単位:千円)

資産の部	
科 目	金額
固定資産	6,316,754
流動資産	982,509
資産の部合計	7,299,263
負債の部	
科 目	金額
固定負債	647,963
流動負債	1,839,431
負債の部合計	2,487,394
基本金の部	
科 目	金額
第1号基本金	5,727,715
第3号基本金	41,500
第4号基本金	65,000
基本金の部合計	5,834,215
消費収支差額の部	
科 目	金額
翌年度繰越消費支出超過額	1,022,346
消費収支差額の部合計	1,022,346
負債の部・基本金の部及び 消費収支差額の部合計	7,299,263

学校法人 誠心学園

消費収支計算書

平成24年4月1日から

平成25年3月31日まで

(単位:千円)

消費収入の部	
科 目	金額
学生生徒等納付金	935,271
手数料	17,359
補助金	27,140
資産運用収入	3,727
雑収入	106,672
帰属収入合計	1,090,169
基本金組入額合計	211,602
消費収入の部合計	878,567

(単位:千円)

消費支出の部	
科 目	金額
人件費	293,465
教育研究管理経費	244,325
管理経費	307,644
借入金等利息	22,688
資産処分差額	288
消費支出の部合計	868,410
当年度消費収入超過額	10,157
前年度繰越消費支出超過額	1,032,503
基本金取崩額	0
翌年度繰越消費支出超過額	1,022,346

学校法人 誠心学園

資金収支計算書

平成24年4月1日から

平成25年3月31日まで

(単位:千円)

収入の部	
科 目	金額
学生生徒等納付金収入	935,271
手数料収入	17,359
補助金収入	27,140
資産運用収入	3,719
資産売却収入	2,258
雑収入	26,599
前受金収入	858,285
その他の収入	263,262
資金収入調整勘定	869,711
前年度繰越支払資金	806,413
収入の部合計	2,070,595

(単位:千円)

支出の部	
科 目	金額
人件費支出	293,195
教育研究管理経費支出	134,915
管理経費支出	291,442
借入金等利息支出	22,687
借入金等返済支出	159,918
施設関係支出	51,093
設備関係支出	15,922
その他の支出	264,084
資金支出調整勘定	100,313
次年度繰越支払資金	937,652
支出の部合計	2,070,595